

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	地区公民館運営事業(日生)	コード	担当課	日生地域公民館
		03-02-04-12	担当者	森谷文彦
事業実施期間			電話	72-1006
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目	生きがいのあるまちづくり		
	小項目	公民館		
	施策	指導者の育成文化活動の推進		

事業について	
目的	地域住民のスポーツへの参加を促すとともに、健康増進、地域内のコミュニティの推進を図る。
対象 (誰のために)	日生町内8地区に在住の人
内容	レクリエーション及び体育に関する事業を円滑、かつ効率的に行うための地区社会体育委託事業。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	(単位)	回数など (単位)
地区公民館数	3	館	
地区社会体育委託事業数	8	事業	
地区社会体育事業委託金額	400,000	円	
地区社会体育事業参加人数	441	人	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	400	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	780	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,180	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.10	人		
結果指標名	地区社会体育委託事業数			
結果指標量	8			
単位	事業			
対前年比	—		0.00%	
事業費	1,180,000	円		
単位当たりコスト①	147,500	円		

結果指標名	地区社会体育事業参加人数			
結果指標量	441			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	1,180,000	円		
単位当たりコスト②	2,676	円		

事業の成果			
成果指標名	地区社会体育事業参加率	式又は説明	地区社会体育事業参加人数÷日生地区住民数 441人÷8,454人 (H18.3.31現在)
	17年度		
成果指標量	5.22%		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	6.00%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 社会教育法第20条	課題認識 本事業は社会教育法第20条の住民の健康増進、併せて地域内住民同士のコミュニティ推進を図ることを目的としているが、今後はより多くの住民の参加を促していきたい。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	各地区に企画・運営を委託することにより事務の軽減化、地域に密着した事業となるなどのメリットを維持するためには事業の趣旨を明確化し委託先である各地区の方に認識を深めていただくよう努力する必要がある。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	今後は多世代でより多くの方が参加できるような事業を企画・運営していただくよう委託先である各地区の方にスポーツやレクリエーションに関する情報等を積極的に提供していくべきである。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	委託先である日生町内の各地区ごとにスポーツ・レクリエーション活動を企画、運営することにより、事業が円滑、かつ効率的に展開されている。今後、各地区ごとの参加人数の増員を目指す。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	8	結果指標量②	465
目標値 成果指標量	5.50%		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	事業趣旨の明確化及び周知徹底	平成19年度	これまで同様に委託により実施でき、事務の軽減化、地域に密着した事業の展開が期待される。
有効性	委託先である各地区へのスポーツ・レクリエーションに関する情報提供	平成19年度	事業内容の幅が広がり多世代でより多くの方がスポーツに親しみやすくなり、健康増進につながる。